

Solaris™ Solaris

移行支援プログラム

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社は、既存のお客様の Solaris OS環境への投資を保護するためのサービスを2009年10月1日より開始します。

Solarisシステムをご使用いただいているお客様に対してサポート終了を迎えるシステムを更改する際に、最小限のリスクで円滑に最新のSolarisシステムへ移行を実現するための各種サービスを提供します。更に、システム更改にあたりシステムの可用性、信頼性を向上させるためのサービスも同時に提供開始します。

保守期限間近の製品

お客様にご使用いただいている製品の保守サービス期限は、下記の通りとなります。

製品名	保守期限
Sun Fire™ 3800/4810	12/31/09
Netra™ 20	04/30/10
Sun Fire B1600 Blade Server	07/31/10
Sun Ultra™ 2/5 Server	12/31/10
Sun Enterprise™ X000 (3000, 4000, 5000, 6000)	12/31/10
Sun Enterprise 10000 and Boards	12/31/10
Sun Enterprise X500 (3500, 4500, 5500, 6500)	12/31/10
Sun Enterprise 450/420R/250/220R Server	12/31/10
Sun Fire V480	03/31/11
Sun Fire V60x/280R/V65x	04/30/11

製品名	保守期限
Sun Fire 15K/12K/6800/4800	05/31/11
Sun Fire V100/V120/V880 & V880Z	06/30/11
Netra CT 820, Netra120/t 1405/t 1400	06/30/11
Sun Fire V250	09/30/11
Netra CT 400/CT 800	11/30/11
Netra t 1120/1125/T1 Model 100/105	12/31/11
Sun Fire X2100 RoHS/X2100	06/30/12
Sun Fire V40Z/V40Z (RoHS)	10/31/12
Sun Fire V440 RoHS/V210/V20Z/V440/V240 RoHS/X4600/V210 RoHS/V240	11/30/12

システム移行のメリットとサービスのご案内

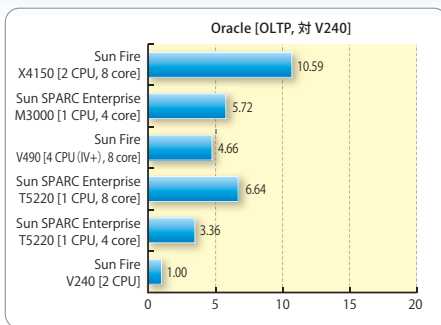
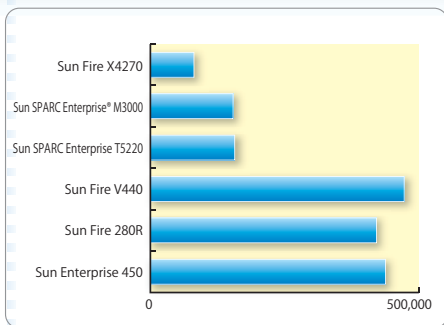
Solaris継続のメリット

高い互換性により他OSに移行するよりも短期間かつ低リスクでの移行が可能

Solaris 8 / Solaris 9コンテナを使用することで、既存のアプリケーション環境に手を入れずにそのまま最新Solarisシステム環境への移行が可能

上記メリットを実現するためにCTCはさまざまな移行パターンを想定し、実績や検証結果を元に、顧客様毎に最適な最新Solarisシステムへの移行を支援します。

Solaris to Solaris 移行支援プログラムのメリット



	To Solaris on SPARC	To Solaris on x86	To Linux
バイナリ互換	○	×	×
シェル互換	○	○	△
ソース互換	○	○	△ (未知数)
移行リスク	◎	○	△

ランニングコストを大幅削減

新しいサーバに変更することで、保守費用を大幅に削減することが可能です。

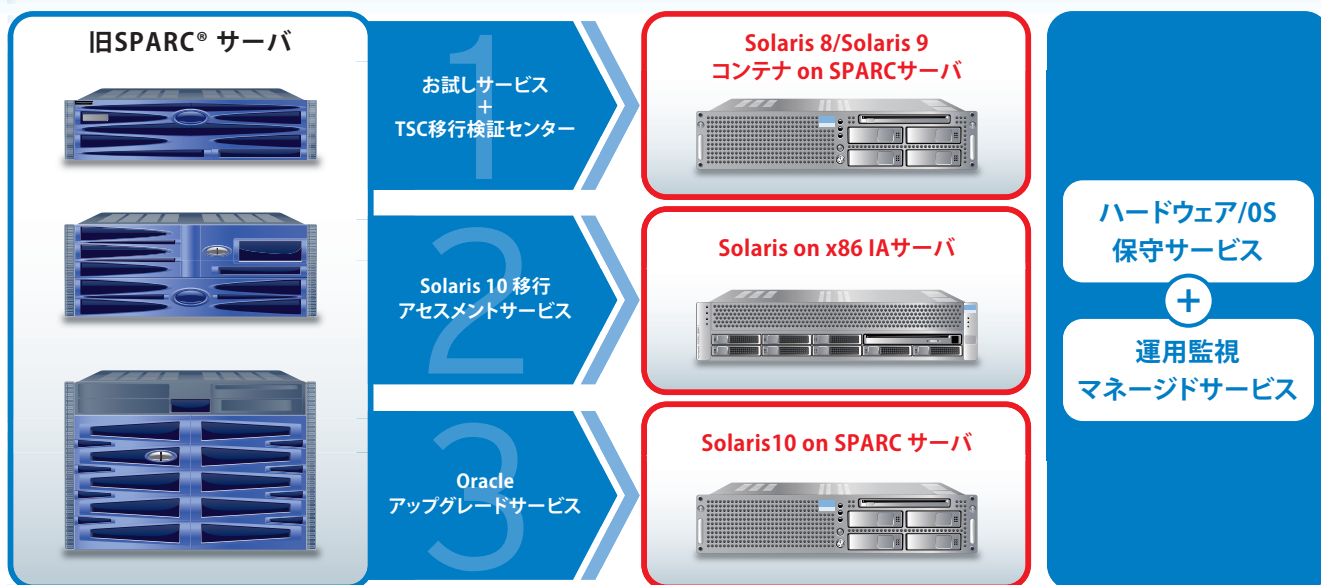
パフォーマンスの強化

最新サーバの高いパフォーマンスにより性能強化することが可能です。

最低限のリスクでアプリケーションを移行可能

Solarisの高い互換性により最低限のリスクで、既存アプリケーションを移行可能です。また、Solaris 8 / Solaris 9 コンテナ機能を使用することで、移行のリスクを更に低減することが可能です。

サーバ移行パターン



Solaris to Solaris 移行判断

	To Solaris 8/Solaris 9 コンテナ	Solaris 10 on x86	Solaris 10 on SPARC
H/W価格	×	○	×
運用コスト(保守費用)	×	○	△
ISVアプリ/ミドルの移行	○	△	○
お客様アプリの移行 シェルスクリプト カスタマイズプログラム	費用	◎	○
	リスク	◎	○
	期間	◎	○
パフォーマンス	△	◎	バイナリ互換 △ / リコンパイル ○
まとめ	長所	パフォーマンスが良い 初期/運用コストが安い	信頼性が高い バイナリ互換があるため移行リスクが低い
	短所	移行出来ないケースもある Solaris 8/Solaris 9がEOSLになれば コンテナもEOSLオーバーヘッドが発生する	初期/運用コストが高い マシンのスペックを100%利用するためには リコンパイルが必要
提供アセスメントサービス	Solaris 8/Solaris 9 コンテナ お試しサービス	Solaris 10 移行アセスメントサービス	Oracle アップグレードアセスメントサービス

Solaris to Solaris移行支援プログラムの詳細

旧Solarisから最新のSolarisへ移行を促進するために以下サービスを提供します。

》 Solaris 10移行アセスメントサービス

既存のSolaris on SPARCから、最新のSolaris 10 (Solaris on x86含む)へ移行する際、ソースレベルでどの程度修正が必要か、また移行期間が必要かを提示します。

》 Solaris 8/Solaris 9コンテナ お試しサービス

Solaris 8/Solaris 9コンテナを事前インストールしたサーバを貸出します。既存ユーザシステムがSolaris 10に移行可能か検証することが出来ます。

》 Oracleアップグレードアセスメントサービス

旧Solaris上で稼動するOracleデータベースに対して、アップグレードの支援サービスを提供します。最新のプラットフォームを有効活用するソフトウェアテクノロジーにより、さらに投資効果の高いシステムへの移行が実現します。

更に、お客様の運用を支えるために、システム稼動状態の監視/維持、システム改編のご提案、管理支援等のサービスをご用意しております。

Solaris 10移行アセスメントサービス

アプリケーション移行アセスメントサービスの提供により、ソースコードレベルでどの程度修正や移行期間が必要になるかを把握し、お客様がアプリケーションを移行するかどうかの判断材料にさせていただくことができます。



対応ステップ数	10万ステップ ※10万ステップ以上は要相談
期間	1週間程度(ソースコード内容によって前後します)
対応言語	C言語
移行元	Solaris 2.6以降
移行先	Solaris 10 on x86 ※SPARCは要相談
作業場所	CTC社内 ※お客様先での作業は要相談(お客様先にツールを実行可能なSolaris10環境があること)
納品物	アセスメント実施報告書(実施結果サマリー、及び、問題箇所と修正方法の提示)

Solaris 8/Solaris 9 コンテナ お試しサービス

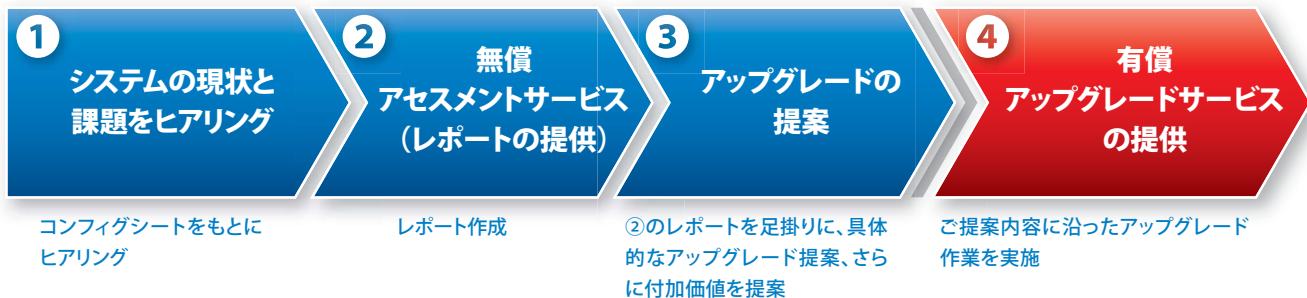
本サービスは、お客様のSolaris 8/ Solaris 9環境をSolaris 8/Solaris 9コンテナ上に移行可能かどうかを検証いただくサービスです。ハードウェア保守期限の迫ったサーバの更改をご検討いただく際にお役立て下さい。



貸し出し期間	30日
移行元	Solaris 8 および Solaris 9 on SPARC
移行先	Solaris 10 on SPARC
サービス内容	本サービスでは、検証機材の貸し出しと検証環境設定に必要な資料を提供し、検証作業はお客様にて実施して頂きます。お渡しする際に、Solaris 8 / Solaris 9 コンテナ環境をプリセットしてお渡しますので、最小限の設定のみで検証を開始することが可能です。なお、検証に必要なデータの移行作業などはお客様に行っていただく必要があります。 ※Solaris 8 / Solaris 9 コンテナを利用する場合には、既存で Solaris 8 / Solaris 9 が稼動しているサーバが必要で、それらからライセンスを移行する形をとります。このため、新規での導入はできませんのでご注意ください。

Oracleアップグレードアセスメントサービス

- アセスメントサービス(無償)を利用し、レポート作成を経て、お客様環境の具体的なアップグレード手法をご提案いたします(ステップ①～③)
- 実際にアップグレードをする場合は、有償サービスにてアップグレード作業のご支援を行ないます(ステップ④)



対象プラットフォーム	SPARCシステム
期間	10日(ステップ④を除く)
費用	無償(ステップ④を除く)
移行元	Oracle8i ~ 10g
移行先	Oracle 11g
納品物	アセスメントレポート(移行作業に関する参考資料付き)

※ 上記以外の環境については個別にご相談下さい。

運用を支えるマネージドサービス

課題

- 1つのシステムで複数ベンダーへ保守問合せを行わなければならない、手間が掛かる
- 障害発生時には、何が問題なのか切り分けするのに、時間と手間が掛かる

CTCが提供するマネージドサービス

■ サービス内容

- マルチベンダー保守対応
- 保守の一元窓口
- 監視サービスで障害予兆検知
- 定例会の開催
- 障害切分け実施

■ メリット

- IT稼動状態維持
- IT改編・変更提案
- システム管理者支援

お客様の負担を大幅に軽減いたします。

Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク, Solaris, Sun Fire, Sun Ultra, Sun Enterprise, Netraは、米国Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づくものです。

お問合せ

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
ITエンジニアリング室 IBB担当宛

〒100-6080 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル
電話: 03-6203-3960
メール: sun-ibb@ctc-g.co.jp